



行方市
NAMEGATA

に こと
式湖と大地のなめがた

議会だより No.61

令和2年11月1日発行

発行者：行方市議会 〒311-3512 行方市玉造甲404 TEL0299 (55) 0111 編集：広報委員会



再生整備事業の行方は（霞ヶ浦ふれあいランド・虹の塔）

主な内容

- あらまし 2 P～4 P
- 第2回（7月）臨時会 5 P
(議案の説明、議決結果など)
- 第3回（9月）定例会 6 P～13 P
(議案の説明、議決結果など)
- 一般質問（第3回定例会）..... 14 P～18 P
- 委員会レポート 19 P
- 議会トピックス・市民の声・議会日誌 20 P

令和2年
9月
定例会

令和2年 第2回臨時会・第3回定例会

あ
ら
ま
し

第2回臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策など、緊急に審議する必要のある案件について、財産の取得、補正予算の2件が市長から提出され、審査の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

第3回定例会では、各会計の決算認定のほか、条例の改正、補正予算等の37件が市長から、意見書の提出について2件が議員から提出され、審査の結果、いずれも原案のとおり、可決・認定されました。また、一般質問には8名の議員が登壇し、市の方針等を質しました。

第3回定例会 提案理由の説明（一部抜粋）

15周年を機に、今後も本市が輝かしい歴史を刻み続けるためには、あらゆる分野において、市民の皆様が大きくつながり、課題があってもあきらめない活気と活力が重要です。それらが根付き、誰もがみんなで支え合い、助け合うことで、包容力のある地域共生社会が形成され、持続的成長の次なるステージへ進むことができるのだと思います。

第2回臨時会の経過

7月9日(木)

※ 議案の内容は5P

【議会運営委員会】

【本会議】開会、会期の決定、

諸般の報告、議案の上程、

説明、質疑、討論、採決、

閉会



第3回定例会の経過

9月2日(水)【議会運営委員会】

※ 議案の内容は6Pから

【本会議】開会、会期の決定、

諸般の報告、議案の上程、

提案理由の説明、委員会付託

4日(金)【本会議】一般質問

7日(月)【本会議】一般質問

9日(水)【本会議】議案質疑、委員会付託

(特別委員会設置)

【予算決算特別委員会】

10日(木)【総務委員会】付託案件の審査

【庁舎建設等調査特別委員会】付託案件の審査

11日(金)【教育厚生委員会】付託案件の審査

14日(月)【経済建設委員会】付託案件の審査

【庁舎建設等調査特別委員会】付託案件の審査

15日(火)【予算決算特別委員会】

16日(水)【予算決算特別委員会】

17日(木)【予算決算特別委員会】

18日(金)【教育厚生委員会】所管事務調査

24日(木)【議会運営委員会】

【本会議】委員長報告、質疑、討論、

採決、追加議案の上程、

閉会中の所管事務調査、

議員の派遣、閉会

9 会計決算は認定

補正予算・決算審査のため、『予算決算特別委員会』が設置され、議長を除く17名の委員により、審査が行われました。特別委員長には、大原 功坪議員、特別副委員長には、栗原 繁議員が互選されました。

審査内容の詳細については、次号「議会だより」でお伝えいたします。

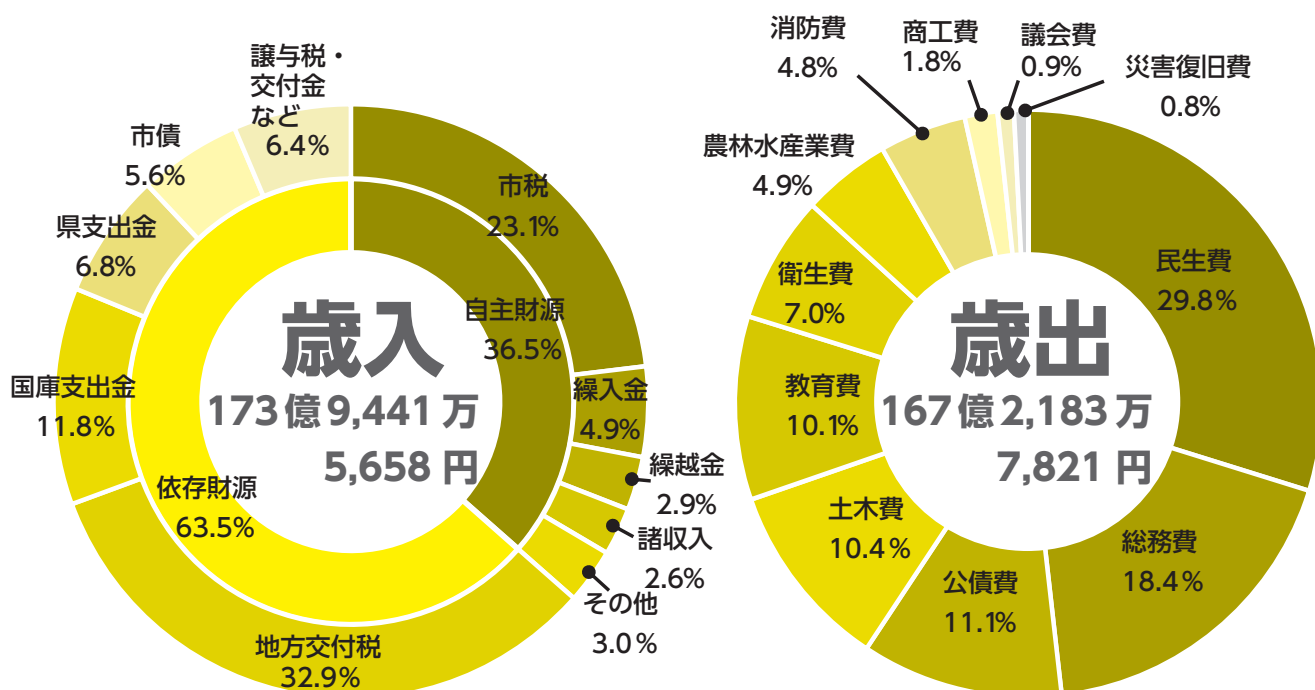
監査委員の意見
(一部抜粋)

本市の今後の財政の見通しは、財源不足が懸念され、厳しい財政状況になっていくことが予想されます。

感染症予防を考慮した新しい生活スタイルの構築が必要とされている昨今、市民に寄り添った事業の実施、将来を見据え、身の丈に合った市政運営がなされるよう希望するものであります。

行方市監査委員 大輪 嘉裕
宮内 守

令和元年度 一般会計の決算状況



一般・特別・企業会計別決算

	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	173億9,441万5,658円	167億2,183万7,821円	6億7,257万7,837円	
国民健康保険特別会計	48億6,018万7,983円	48億5,297万3,067円	721万4,916円	
介護保険特別会計	保険事業勘定	38億5,520万1,660円	37億581万181円	1億4,939万1,479円
	介護サービス事業勘定	890万9,085円	597万7,034円	293万2,051円
後期高齢者医療特別会計	3億5,532万2,082円	3億5,415万7,216円	116万4,866円	
農業集落排水事業特別会計	2億8,790万2,291円	2億5,732万5,874円	3,057万6,417円	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	6億6,790万6,872円	4億2,454万9,923円	2億4,335万6,949円	
流域関連公共下水道事業特別会計	3億5,614万5,374円	3億370万9,827円	5,243万5,547円	
戸別浄化槽整備事業特別会計	1億1,899万8,447円	1億83万3,236円	1,816万5,211円	
水道事業会計	収益的収入及び支出	9億1,133万3,138円	8億5,329万618円	5,804万2,520円
	資本的収入及び支出	1億9,580万6,405円	4億6,043万7,009円	△2億6,463万604円



※その他、詳細については行方市HPをご覧ください。
(<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/page008707.html>)

主要指標から見た 行方市の財政状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、令和元年度の行方市健全化判断比率の報告がありました。

• **実質赤字比率** **--%** **(赤字額がないため --%の表示)**
標準財政規模における一般会計等の赤字の割合を指標化したもの

• **連結実質赤字比率** **--%** **(赤字額がないため --%の表示)**
行方市のすべての会計を合算して赤字の割合を指標化したもの

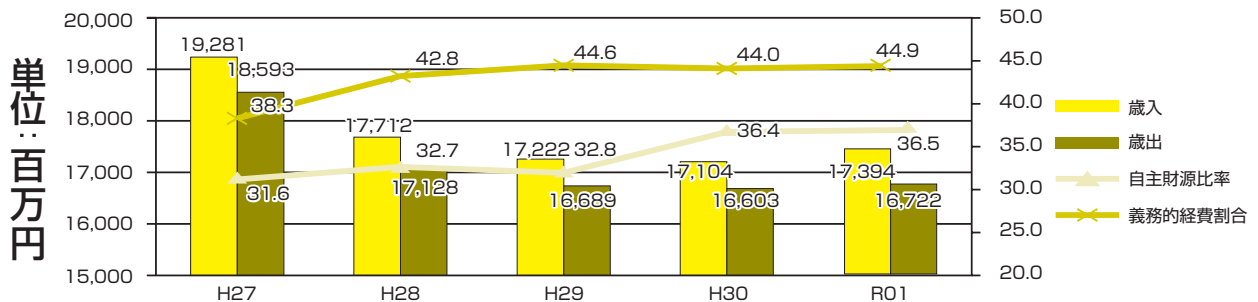
• **実質公債費比率** **7.4%**
市の実質的な借金が財政規模に占める割合のこと。数値が高いほど返済の負担が重いことを示し、通常3年間の平均値を使用します。

年度 / 項目	比率	県内平均	早期健全化基準
R01	7.4	6.7	25.0
H30	7.4	6.8	
H29	7.1	6.8	

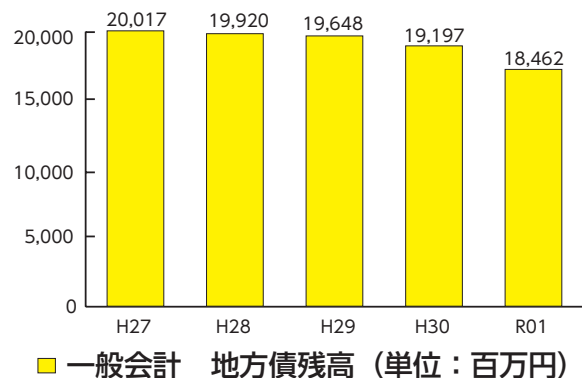
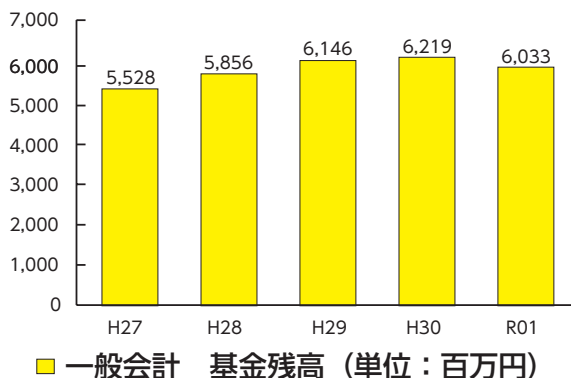
• **将来負担比率** **62.6%**
地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

年度 / 項目	比率	県内平均	早期健全化基準
R01	62.6	41.9	350.0
H30	62.2	37.1	
H29	65.9	37.0	

5年間の一般会計決算の推移



自主財源比率・・・歳入に占める自主財源（市税、手数料・使用料、寄附金等）の割合
義務的経費割合・・・歳出に占める義務的経費（人件費、公債費、扶助費等）の割合





※ 液肥散布車イメージ

提出議案

財産の取得について

購入する動産

液肥散布車購入 2台

(有機肥料供給センターで使用)

契約金額

24,097,696円

契約の相手方

茨城日野自動車株式会社

鹿島支店 支店長 葛西 学

令和2年第2回行方市議会臨時会 提出議案議決結果

《市長提出議案》

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第48号	財産の取得について	原案可決(全会一致)	—

補正された予算 (令和2年度)

議案番号	補正額(総額)	主な内容	議決結果
議案第49号 一般会計(第5号)	2億3,422万1千円 増額 (202億3,315万1千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生就学支援事業/1,667万9千円 ・大学生等応援事業/340万円 ・社会システム衛生維持確保事業/405万1千円 ・海外派遣協力隊受入れ事業/275万円 ・戸籍住民基本台帳事務費/788万9千円 ・未熟児医療対策事業/200万円 ・子ども・子育て支援事業/294万4千円 ・ひとり親世帯臨時特別給付金事業/3,335万6千円 ・保健衛生総務事務費/1,575万3千円 ・儲かる産地支援事業費補助金/1,017万7千円 ・中小企業等事業継続給付金/3,000万円 ・プレミアム付商品券事業/8,400万円 ・防災減災対策事業/976万5千円 など 	原案可決 (全会一致)

総務委員会

Q 行方市条例の一部を改正する条例について

A 固定資産の所有者に対して課する、固定資産税の減免措置に係る要件を拡充するもの。

Q 老朽危険空家を撤去した場合の減免期間は。

A 減免の期間は、3年間を考慮しています。

Q 老朽危険空家のみが減免対象か。まだ住める家だが、都心に移住したために取り壊す等の場合は。

A 減免は老朽危険空家と指定を受けた家屋についてのみ対象となります。
まだ住める家に関しては、空き家バンク等の制度がありますので、そちらを利用していただきたいと思います。

教育厚生委員会

Q 行方市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

A 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する府令が施行されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

Q 行方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

A 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

財産の取得について

Q 購入する動産

A 行方市GIGAスクール
タブレット端末等2,263台

Q 契約金額

A 159,641,130円

Q 契約の相手方

A 株式会社ニューライフ

代表取締役 野村 達夫

Q 導入にあたり、今後どのようなものが必要になるか。

A 今後は、全校生徒がインターネットを使って授業を行うこと
もあるため、無線アクセスポイントの増強の工事等を考えたい
ます。
また、インターネット上の文
書作成ソフト等を使用するため
の、アカウント料等も必要とな
ってきます。

本会議の内容を知りたい

本会議の内容は、なめがたエリアテレビや、インターネット録画中継でもご覧になれますが、会議の公式記録は会議録となります。会議録は、インターネットにて全文を確認できます。

市議会ホームページで「会議録」を選択してください。



▶付託案件の審査

請願

Q A
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願



請願の要旨

学校現場では、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配措置ではなく、抜本的な定数改善が不可欠です。

国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでも、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、ゆたかな子どもの学びを保障するため、2021年度政府予算編成において、本請願事項が実現されるよう、国の関係機関への意見書提出を請願いたします。

①計画的な教職員定数改善により少人数学級を推進すること。

②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

【請願者】

茨城県教職員組合 杉山 繁

【紹介議員】

高柳 孫市郎

Q 署名によっては同じ人が2、3人分の名前を書いていたいますが、中身は確認しているか。

A 確認済みです。



審査の結果

● 採択

～ 議会へ請願・陳情される方へ ～

請願・陳情とは、市民が市政についての要望や意見を直接「議会」に提出する方法です。

- ※ 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に分かりやすく書いてください。
- ※ 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ※ 請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に自筆による署名及び押印が必要です。
- ※ 紹介議員が見つからないときは、陳情書としてください。
- ※ 提出方法については、議会事務局へお問い合わせください。

(表紙例)

〇〇〇に関する 請願（陳情）書	
紹介議員 署名	印

(内容例)

〇〇〇に関する請願 (陳情)	
1. 要旨 2. 理由	
令和 年 月 日 請願（陳情）者の住所 氏名	印
行方市議会議長	殿

経済建設委員会

Q 令和元年度行方市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

A 令和元年度行方市水道事業会計未処分利益剰余金46,810,863円を減債積立金に積立てるもの。

Q 今後の剰余金の見通しは。

A 料金改定を昨年12月の定例会で行い、現在、その延期をしています。延期が解ければ収入が増額になり、剰余金が発生すると思われるので、減債積立金のほうに積立てをし、企業債の償還に充てていきたいと考えています。

▼令和2年度行方市水道事業会計建設改良積立金の目的外使用について

令和2年度行方市水道事業会計建設改良積立金201,105,400円を取り崩し、減債積立金に振り替えるもの。

▼行方市道路線の廃止・

認定について(5件)

庁舎建設等調査

特別委員会

Q 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業に係る事業契約の締結について

A 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業を中長期にわたり安定的に運営・推進するため、官民連携事業として契約を締結するもの。

Q 地元への説明が一番ではないのか。

A できるだけ早くという意向もありましたが、事前に区長へ相談し、議決後、改めて地域の皆様、関係機関へ説明するという事にさせていただきました。

Q 事業継続が困難となっても、工事は別として、市の負担は続くのか。

A 維持管理料は、業務を行った分に支払をする形のため、業務の履行がされない部分は支払われません。

Q 利益の還元については確約されているのか。

A 契約の中に、経常利益の総額が想定額の150%を上回った場合、その2割を還元することが含まれていません。

Q 霞ヶ浦ふれあいランド及び行方市観光物産館「いっしょ」の指定管理者の指定について

A 霞ヶ浦ふれあいランド及び行方市観光物産館「いっしょ」の指定管理期間が本年度にて終了すること、また、霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業に着手することにより、新たな指定管理者を指定するもの。

Q 観光物産館「いっしょ」への提案はどのようなものか。

A 今の事業を引き継ぎ、現在の出荷者に引き続き利用してもらえ、来訪するサイクリストを呼び込みたいとの提案を受けています。

▼人権擁護委員候補者の推薦について

平山 邦寛 (繁昌)
坂本 将 (捻木)

令和2年12月31日で任期満了となるため、平山氏、坂本氏の両氏を候補者として推薦することについて、適任であると答申しました。

▼教育委員会委員の任命について

滝 恵美子 (玉造甲)

令和2年11月30日で任期満了となるため、引き続き、滝氏を委員に任命することに同意しました。

▼固定資産評価審査委員会委員の選任について

椎名 繁 (手賀)
大曽根 崇 (五町田)
近藤 芳子 (内宿)

令和2年11月30日で任期満了となるため、椎名氏、大曽根氏、近藤氏の3名を委員に任命することに同意しました。

議員発議

▼教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書の提出について

採択された請願第3号の趣旨に基づき、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること等を、国の関係機関に求めるもの。

▼新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

新型コロナウイルス感染症により、地域経済にも大きな影響が及び、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっていることから、地方税・地方交付税などの一般財源総額を確保すること等を、国の関係機関に求めるもの。



意見書を提出しました。

令和2年第3回(9月)定例会において審議された二つの意見書は、全員一致で可決されました。可決された意見書はそれぞれ、国の関係機関へ送付されました。



○提案理由の説明を行う教育厚生委員会
高木 正委員長(写真上)と新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会 高橋 正信委員長(写真下)



※意見書の全文はHPをご覧ください。
(<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/page008796.html>)

本会議において 賛否が分かれた議案

議案第57号
可決

霞ヶ浦ふれあいランド再生整備
事業に係る事業契約の締結につ
いて



反対討論

地元への説明が不十分である。急がず慎重に審議すべき議案である。



賛成討論

霞ヶ浦ふれあいランドは観光拠点として重要であり、開発は必要であると考えられる。これからの市の発展に期待する。



反対討論

議決後に地元の説明を行うというのは逆の話である。また、リスクの大きい事業であり、庁舎建設の検討や、地域医療の問題など、優先すべき事業が他にあるのではないか。



賛成討論

観光資源の開発は市に必要であり、新しい生活様式の中で、近場の観光施設は需要があると考ええる。失敗を恐れて決断するのではなく、市の発展のための賛成をいただきたい。



反対討論

これは商売であり、博打的な事業で、今までの行政のやり方に馴染まないのではないか。市の事業としての優先順位は、防災・減災の方が高く、他にも市の課題は山積している。



賛成討論

現状のまま維持しても、改修工事や指定管理料で数億円かかる。この機を活かし、民間のノウハウを活用して、地域活性化と市民サービスの向上につなげるべきである。



反対討論

事業の目的は理解できるが、地元の理解等の難問が山積し、市の財政もひっ迫している。身の丈に合った市政運営をするべきである。



賛成討論

民間企業の投資にはタイミングがあり、それも含めて考えなければならぬ。市のPR拠点が国の防災備蓄倉庫になり、今後の発展が望めなければ、過疎化の波に飲まれ市の将来がなくなってしまう。



反対討論

市民の意向が十分考慮されているのか懸念がある。道の駅の防災拠点化を望む自治体も少なくない中で、防災備蓄倉庫は忌避される迷惑施設なのか。



○霞ヶ浦ふれあいランド

▶ 賛否が分かれた議案

☹️ 反対討論

行方市観光物産館「こいこい」は、非常に今、人気があり、納入している農家の方にも、大きな利益を生んでいると聞いている。これをなぜ、民間委託する必要があるのか。引き続き、開発公社に運営をお願いしたいと考える。

☹️ 反対討論

民間業者の導入により、より大きな利益を生むことは可能であると考えるが、それは色々な人の理解と協力により生まれる結果である。それを説明会もなく、関係者が知らずに指定管理者が決まるのはおかしな話であり、地元の同意もなしに、議会が決める権利はないと考える。

議案第58号

可決

霞ヶ浦ふれあいランド及び行方市観光物産館「こいこい」の指定管理者の指定について

■ 議案賛否一覧表

(賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=-、議長=■)

賛否が分かれた議案と賛否結果	1 中城かおり	2 伊勢山仙寿	3 高野市郎	4 阿部孝太郎	5 藤崎仙一郎	6 小野瀬忠利	7 栗原繁	8 土子浩正	9 貝塚俊幸	10 鈴木裕	11 宮内守	12 高橋正信	13 小林久	14 高木正	15 大原功坪	16 鈴木義浩	17 高柳孫市郎	18 岡田晴雄	賛否結果
議案第57号	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	■	可決
議案第58号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	■	可決
認定第1号 令和元年度行方市 一般会計歳入歳出 決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	■	認定

※議長は通常、表決に加わりません。

※棄権は表決する権利を行使しなかった場合です。(棄権は退席を含みます。)

スマホで読める！議会だより デジタルブック配信しています

※ デジタルブックの配信は発行日の10日後となります。

- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読めます。
- 10言語で読めます。
- 音声読み上げもできます。
- 文字サイズを調整できます。

※ブラウザは音声読み上げに対応しておりません。

音声読み上げには無料アプリ(カタポケ)のインストールが必要です。

無料アプリ
「カタポケ」
このアイコン
が目印 →



令和2年第3回行方市議会定例会 提出議案議決結果

《市長提出議案》

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
報告 第15号	令和元年度行方市一般会計継続費精算報告書について	—	—
報告 第16号	令和元年度行方市農業集落排水事業特別会計継続費精算報告書について	—	—
報告 第17号	令和元年度行方市健全化判断比率の報告について	—	—
報告 第18号	令和元年度行方市資金不足比率の報告について	—	—
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	平山氏を適任であると答申	—
諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	坂本氏を適任であると答申	—
議案 第50号	教育委員会委員の任命について	原案同意（全会一致）	—
議案 第51号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意（全会一致）	—
議案 第52号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意（全会一致）	—
議案 第53号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意（全会一致）	—
議案 第54号	行方市税条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	総務委員会
議案 第55号	行方市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	教育厚生委員会
議案 第56号	行方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	教育厚生委員会
議案 第57号	霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業に係る事業契約の締結について	原案可決（賛成多数）	庁舎建設等調査特別委員会
議案 第58号	霞ヶ浦ふれあいランド及び行方市観光物産館「こいこい」の指定管理者の指定について	原案可決（賛成多数）	庁舎建設等調査特別委員会
議案 第59号	財産の取得について	原案可決（全会一致）	教育厚生委員会
議案 第60号	令和元年度行方市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決（全会一致）	経済建設委員会
議案 第61号	令和2年度行方市水道事業会計建設改良積立金の目的外使用について	原案可決（全会一致）	経済建設委員会
議案 第62号	行方市道路線の廃止について	原案可決（全会一致）	経済建設委員会
議案 第63号	行方市道路線の認定について	原案可決（全会一致）	経済建設委員会

《議員提出議案》

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
発議 第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書の提出について	原案可決（全会一致）	—
発議 第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）	—

《請願・陳情》

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
請願 第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採択	教育厚生委員会

※ 色が付いたものは賛否の分かれた議案です

■ 補正された予算（令和2年度）

議案番号	補正額（総額）	主な内容	議決結果
報告 第19号 一般会計（第6号）	755万3千円 増額 (202億4,070万4千円)	○専決処分の承認を求めることについて ・戸籍住民基本台帳事務費/15万2千円 ・給食センター運営事業/740万1千円	原案承認 (全会一致)
報告 第20号 一般会計（第7号）	761万8千円 増額 (202億4,832万2千円)	○専決処分の承認を求めることについて ・ICT教育推進事業/761万8千円	原案承認 (全会一致)
議案 第64号 一般会計（第8号）	4億2,057万4千円 増額 (206億6,889万6千円)	・光ファイバ網敷設工事/9,500万円 ・中小企業等事業継続給付金/7,844万3千円 ・防災減災対策用備品購入/1,999万3千円 ・ICT教育推進事業/4,447万1千円 など	原案可決 (全会一致)
議案 第65号 国民健康保険 特別会計（第2号）	55万6千円 減額 (47億3,824万4千円)	・職員給与費/△55万6千円	原案可決 (全会一致)
議案 第66号 介護保険 特別会計（第2号）	82万7千円 減額 (39億1,492万3千円)	・職員給与費/△407万7千円 ・国庫支出金等償還金/325万円	原案可決 (全会一致)
議案 第67号 水道事業会計(第1号)	収益的支出 49万4千円 増額 (支出予定額： 8億7,722万2千円)	・給料/△10万3千円 ・手当/△66万9千円 ・賞与引当金繰入額/20万7千円 ・法定福利費/105万9千円	原案可決 (全会一致)
議案 第68号 下水道事業会計 (第1号)	収益的支出 965万2千円 減額	・ストックマネジメント計画委託料/△900万円 ・単独浄化槽撤去等補助金/120万円 など	原案可決 (全会一致)
	資本的支出 2,700万円 増額	・玉造浄化センター改修工事業務委託料/ 2,700万円	

※追加議案以外の補正予算は予算決算特別委員会に付託されました。

■ 補正された予算（令和2年度・追加議案）

議案番号	補正額（総額）	主な内容	議決結果
議案 第69号 一般会計（第9号）	6,339万2千円 増額 (207億3,228万8千円)	・塵芥処理事業（修繕料）/1,674万2千円 ・ICT教育推進事業/4,632万1千円	原案可決 (全会一致)

■ 決算認定（令和元年度）

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
認定 第1号	令和元年度行方市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定（賛成多数）	予算決算特別委員会
認定 第2号	令和元年度行方市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定（全会一致）	予算決算特別委員会
認定 第3号	令和元年度行方市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定（全会一致）	予算決算特別委員会
認定 第4号	令和元年度行方市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定（全会一致）	予算決算特別委員会
認定 第5号	令和元年度行方市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定（全会一致）	予算決算特別委員会
認定 第6号	令和元年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定（全会一致）	予算決算特別委員会
認定 第7号	令和元年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定（全会一致）	予算決算特別委員会
認定 第8号	令和元年度行方市戸別浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定（全会一致）	予算決算特別委員会
認定 第9号	令和元年度行方市水道事業会計決算認定について	原案認定（全会一致）	予算決算特別委員会

※ 色が付いたものは賛否の分かれた議案です

市の考えを問います

一般質問

8名の議員が登壇し、市執行部に対し方針等を問いました。
(内容は要約して掲載しています)

※ 新型コロナウイルス感染症対策として、一般質問の時間を **60分** に変更しています。

9月4日 (4議員)

小野瀬 忠利 (一問一答)14 ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響による対応について

高木 正 (一問一答)15 ページ

- 1 次世代型行方行財政のあり方を問う

高橋 正信 (一括)15 ページ

- 1 防災・減災対策について
- 2 感染症対策について

伊勢山 仙寿 (一問一答)16 ページ

- 1 コロナ禍の中、感染者対策と対応について
- 2 空き家等に関する施策について
- 3 霞ヶ浦ふれあいランド周辺の状況と施策及びつくば霞ヶ浦りんりんロードの状況と施策について

9月7日 (4議員)

阿部 孝太郎 (一問一答)16 ページ

- 1 デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進に関して
- 2 アフターコロナに向けてのまちづくりに関して

中城 かおり (一括)17 ページ

- 1 女性管理職登用について
- 2 有害鳥獣対策

高野 市郎 (一問一答)17 ページ

- 1 少子高齢化による人口減少への取り組み
- 2 定住化促進事業の推進

小林 久 (一問一答)18 ページ

- 1 進路指導教育
- 2 市道路線整備
- 3 新年度予算

答 経済部長 国や県の各種支援事業を最大限に活用するとともに、申請に伴う相談窓口を開設しています。また、市においても、独自に中小企業等事業継続給付金事業やプレミアム付商品券事業に取り組んでいます。

答 市長 地方創生臨時交付金等、国の支援策を積極的に活用し、本市の実情に合った感染予防や拡大防止策、市民や市内事業者等への支援、新しい生活様式の実践等、ポストコロナの時代を認識して、感染拡大の防止と、市民生活や社会経済活動を両立させるための施策を、バランスよく、展開していきます。

問 市民生活、市経済を守るため、どの様に取り組んでいくのか

Q 新型コロナウイルス感染症の影響による対応について



小野瀬 忠利 議員

答 企画部長 今後、交付金のうち非予算化分、3次配分額、これまでの事業進捗に伴う不用額などを活用し、さらなる支援策や活性化事業も検討して、市民の皆さんに還元できるように、庁内において十分に検討していきます。

答 市民福祉部長 国からの補助により、感染拡大の支援として、保育所等1施設当たり50万円の補助を2回行っています。また、保育所等で感染拡大の防止に必要な消耗品、子ども用マスク、手指用消毒液、備品として空気清浄機、電子体温計等を購入し、感染防止に努めています。

答 教育長 保護者と連携を図り、感染源を断つこと、感染経路を断つこと、抵抗力を高めることの3つのポイントを踏まえて、感染症対策と教育活動の両立に取り組んできました。

農業者の支援については、国の高収益作物次期作支援事業を最大限に活用できるよう、事業推進体制、申請受付体制を強化しています。

次世代型行方行政財政のあり方を問う



高木 正 議員

問 将来の展望をかけたの、次世代型行方行政の在り方と、その為の市民と行政の情報と認識の共有を深めつつ、あるべき方向性の正当性・適格性を求める為に問う。社会は、新型コロナウイルス感染症対策として税収の2倍にあたる国債の発行や、GDPの年率換算が戦後最悪という状況であり、リスクの所在、財政根拠のはっきりしない事業への投資は、次世代への前借行政であり、取り返しのつかなくなるものだと思われる。覚悟をもって行政に取り組んでいただきたく思う所である。

① 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業の妥当性を問う。(18億9,350万円の随意契約、16年間にわたる税金を担保にしての事業への見解を問う)

答 市長 資産の平準化、観光業の復活、アフターコロナにおいて計画的に進めたい。

問 市民の理解と協力が確認できない中で、リスク管理の面でも甚だ不適切であり、無責任な事業であると思うが

答 市長 ニーズは大きく、リスクは負うべきだが、全て精査してきた議案であります。

問 キリンを中心とした動物公園について、道の駅について、ハザードマップの対象地区内であることについて、高須地区への説明会等に対しては

答 市長 キリンの部分は今後に決まる話ですが、議決後、又は事業が決定した後、地元とは調整していきます。

問 ② 庁舎建設について

答 市長 防災を中心として市民の不便がないよう進めます。

防災・減災対策について



高橋 正信 議員

問 ハザードマップの中に要配慮者利用施設20か所が明記されている。20か所とも危険区域に立地している施設だが、行政としてどのような対応策を講じられているのか

答 総務部長 要配慮者利用施設20か所、浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域内ということで、避難確保計画の作成と、避難訓練の実施が義務化となっています。現在5施設は避難確保計画が策定されていますが、残る15施設は未策定ですので、早急に取り組んでいただくよう周知していく考えです。

問 複合災害に備えた分散避難体制、避難訓練、そして避難所運営に万全を期すべくと考えるが、避難対策への所見を伺う

答 市長 前月、行方市防災会議を開催し、地域防災計画の一部見直しと、感染症対策を踏まえた避難所運営方針を追加しました。これに基づき、先日担当職員を中心に避難所開設訓練を実施したところであります。引き続き、災害時の初動対応や、災害によって生じた課題に対する検証を行い、市民の安全確保と強靱なまちづくりを務めてまいります。

感染症対策について

問 コロナ禍の影響を受けて生活が困窮している方への支援策として、特例の貸付けで緊急小口資金、総合支援資金がありますが、その概要と利用状況を伺いたい

答 市民福祉部長 緊急小口資金ですが、貸付上限20万円、据置期間1年以内、返済期間2年以内で87件の利用状況があり、金額で1,634万円になります。

また、総合支援資金は貸付上限が、2人以上の世帯で月20万円、単身世帯で月15万円、原則3ヶ月まで借りられます。据置期間1年以内、返済期限10年以内で、60件の利用があり、金額で3,255万円です。



伊勢山 仙寿 議員

Q コロナ禍の中、感染者対策と対応について

問 コロナ禍での感染者対策は

答 市長 県内において6月以降、感染者数が増加しており、既に第2波に入ったとも言える中、市民が新しい生活様式を実践し、徹底する事が重要だと感じています。

問 市民福祉部長 PCR検査

答 市民福祉部長 PCR検査等、振り分けるのは潮来保健所ですが、本市では健康増進課が窓口になり、各市民への相談や、ご案内をしています。

問 教育長 学校や幼稚園は集団生活を通して学ぶため、3密の回避として、ガイドラインに基づき、危機感を持って感染症対策に取り組んでいます。

問 市民福祉部長 一つ何処で市民が感染するか分からない中、感染された方や御家族に、不当な差別的取扱いがないよう、努めていきます。

問 市民福祉部長 一つ何処で市民が感染するか分からない中、感染された方や御家族に、不当な差別的取扱いがないよう、努めていきます。

Q 空き家等に関する施策について

問 空き家に対する施策について

答 企画部長 令和2年8月末で、空き家バンクに登録されているのは、空き地が3件です。地方移住の機運が高まっていることから、有効活用できるように努めます。

問 総務部長 荒廃した空き家には指導書を出し、特定空き家に認定すると、法的措置ができる事になり、指導の後、適正な管理がされなければ勧告をします。そして、住宅用地の特例から外れ、土地の固定資産税が上がるという事になります。

Q 霞ヶ浦ふれあいランド周辺の状況と施策について

問 ふれあいランド周辺の施策は

答 経済部長 霞ヶ浦ふれあいランドへは、家族連れを中心に年間5万5千人が来訪し、観光物産館こいこいは、年間15万人を超える来場者となっています。つくば霞ヶ浦りんりんロード全体では、9万3千人となります。本市でもサイクリスト向け情報誌の発行や、イベント等に取り組んでいます。



阿部 孝太郎 議員

Q デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に関して

問 DX推進に関して、どのような施策があるか

答 市長 市独自の光ファイバー網を活用して、なめがたエリアテレビや庁舎間のテレビ会議、学校でのeラーニング導入など、DX推進に向けての基盤づくりを進めています。今後は、独自の光ファイバー網の拡大と強靱化を図り、行政手続や教育、医療分野、働き方改革などでオンライン化を促進し、きめの細やかな行政サービスを提供していきます。

また、経済産業省のキャッシュレスモニター自治体にも指定されたことから、市役所はもとより市内の事業所でも、キャッシュレス決済の普及啓発を図りながら、新たな日常のためのデジタル化を進めていきます。

答 企画部長 行政手続きや、教育、医療分野のオンライン化など、デジタル技術を活用した行政サービスの変革が、施策として挙げられます。デジタル変革で実績をあげる鹿島アントラーズFCとの連携も視野に入れ、スピード感をもって検討していきます。

Q アフターコロナに向けてのまちづくりに関して

問 水産業に関して県との連携は

答 経済部長 県補正予算で県産水産物学校給食提供緊急対策事業として、1億1,000万円を計上しており、その中の1,000万円程度で養殖鯉での食材を考えています。霞ヶ浦北浦沿岸の希望する小・中学校に、学校給食として無償提供する予定です。また、茨城県水産試験場内水面支場の研究施設が、本年8月に新たに完成しました。霞ヶ浦北浦の資源生体研究や養殖対策など、さらなる高度な研究の発展が有望視されます。

女性管理職登用について



中城 かおり 議員

問 状況と取り組みについて

答 市長 女性職員を委員とした行方市女性活躍推進委員会を設置し、女性職員の活躍推進に関する特定事業主行動計画を策定しています。

主主体体制整備や数値目標を定め、女性職員の活躍を組織全体で継続的に推進していきます。

答 総務部長 女性職員自身の管理職に対する理解や、女性が働きやすい職場環境づくりに努めています。

また、男性管理職に対しても、イクボス研修への参加を促し、部下への育児参加やワーク・ライフ・バランスへの理解を深める機会を設けているところです。

有害鳥獣対策

問 被害状況と取組について

答 経済部長 本年度はカラス55羽、カルガモ69羽、イノシシ23頭を捕獲しています。

農地へのイノシシ被害防止対策事業として電気柵等の設置に経費の2分の1、上限を3万円として補助金を交付しています。三者未済で事業を実施する場合には、県から同様の金額が加算されています。

今年度は交付済みが34件、申請に関する問い合わせが20件以上あり、希望者も増えてきています。

問 ハンター育成について

答 経済部長 有害鳥獣捕獲従事者の育成として、わな猟の免許を新規に取得する場合に、猟友会加入を条件としまして、講習会受講料、免許試験申請費用等に対する補助を行っています。

今後も拡大する有害鳥獣被害に対応できるように、従事者の育成に努めていきます。

少子高齢化による人口減少への取り組み

問 少子高齢化による人口減少への取組について

答 市長 「笑顔で住み続けたいまち、行方」を将来像に掲げ、少子高齢化の課題に対応し、多岐に渡った施策の推進をしています。

答 企画部長 本市における婚姻・出生届の推移について、平成17年度は170組から、平成30年度には95組へと著しく減少、出生数も271人から169人へと減少しています。また、人口減少率の推移について、合併以降、年平均で約500人の減少となっています。

次に企業誘致促進状況は、現在、学校跡地や工業団地を活用すべく様々な企業に啓発誘致活動をしています。

定住化促進事業の推進

問 定住化促進事業の推進について

答 市長 行方市定住・移住促進計画に沿って、政策を推進しています。これまでの取組として、定住応援助成金制度等の充実、本市の課題解決などをテーマにしたビジネスプランコンテストの実施、シティプロモーションの着手など、市内・市外に向けてのバランスを考慮しながら、事業展開しています。

問 税務署跡地は樹木が伸び放題で公園らしくないので、樹木伐採、擁壁工事、あるいは隣接した道路の拡幅工事などを地元民は希望しています。私も、近隣住民や子どもたちの遊び場、住民の憩いの場になる事を期待しています。いかがでしょうか

答 総務部長 樹木については、現場を確認し、対応したいと考えています。

答 建設部長 市道1436号線は、人家が密集している等の理由で、拡幅は困難です。代替案として、税務署跡地の利活用と併せ、車の待避所ができるかどうか、検討しています。



小林 久 議員



進路指導教育

問 コロナ禍での児童・生徒の進路指導は

答 教育長 キャリア教育は、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリアの発達を促します。本市では、小学校1年生から中学校卒業までのキャリアノートを作成して、発達の段階に応じて体系的に取り組んでいます。その中には進路指導も含まれています。

本年度は、コロナ禍の影響により、職業人に話を聞く、中学生の会社見学や職場体験学習等は中止、あるいは、縮小せざるを得ない状況ですが、進路相談、高校入試説明会、保護者との自分の進路選択を行う面談など、その他のキャリア教育、進路指導は計画的に実施しています。



市道路線整備

問 予算減額の中での整備状況

答 建設部長 道路改良事業は、整備中路線をできる限り促進し、整備効果の早期発現を図り、限りある予算の中、整備手法や新技術の導入などにより、コスト縮減に努める工夫をし、効果的、効率的な事業展開を図ります。



新年度予算

問 編成の考え方と状況

答 市長 令和3年度の予算編成は、歳入面で新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、市税の減収が予想され、普通交付税は合併算定替が終了し、令和3年度が一本算定の初年度となり、令和2年度と比較して、7,000万円程度、減収する試算となります。

庁舎建設・公共施設の老朽化への対応、総合戦略書に掲げる3つのプロジェクトなどへ、重点的に予算を配分しなければと考えています。

議会トピックス



表彰されました

全国市議会議長会から市政の振興に努めた功績を称え、次の議員が表彰されました。また、議長に対し感謝状が贈られました。

表 彰(市議会議員 15年)

大原 功坪 議員
小林 久 議員

感謝状

岡田 晴雄 議長



○左から、小林久議員、岡田晴雄議長、大原功坪議員

今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



ホームタウンポロシャツを着用

鹿島アントラーズを応援するため、9月9日の本会議で、議員・執行部全員が、ホームタウンポロシャツを着用しました。



○本会議の様子

所管事務調査を行いました

令和2年9月18日に、教育厚生委員会において所管事務調査を行いました。行方市文化会館の新型コロナウイルス感染症対策や、行方市麻生運動場多目的グラウンドの芝生化の管理状況について視察の後、教育委員会委員との意見交換を行い、行方市の教育や文化施設等の現状について理解を深めました。



○文化会館に導入された「検温アラームシステム」



○麻生運動場 芝生の維持管理作業の様子を視察

臨時交付金の審査にあたりました

新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会では、令和2年7月22日に全体での説明を聞いた後、各分科会に分かれ、所管ごとに地方創生臨時交付金（第2次）の申請内容についての審査を行いました。各分科会で審査された内容は、8月11日に集約され、議長・特別委員長の名義で市長へ送付されました。



- ◇審査日程
- 7月22日**
新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会（全体）
 - 7月29日**
第1分科会（総務委員会 所管分）
第3分科会（経済建設委員会 所管分）
 - 7月31日**
第2分科会（教育厚生委員会 所管分）
 - 8月11日**
新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会（全体）

ちょっと一言!!

市民の声



皆様のご意見は各委員会に伝え、
今後の市政へと活かしていきます!

議会の在り方について

議会には、行政のチェック機関としての役割を果たしていただきたい。それは一般質問だけではなく、委員会できちろん議論することや、事業内容の精査や関係資料の検討などもチェックの方法であると思う。

例えば、外部委託をしているものの内容の検討や、委託料は有効活用されているか等の協議である。エリア放送などは、とりわけ金額が多いため、今までの経過を検討する必要性があり、視聴状況の調査が行われているか、情報発信の方法等、行政と議会で協議することにより、今後のより良い方向性を見出せるものと考えている。

(50代 男性)



わかりやすい空き家対策を

現在、住んでいない空き家や物置が、話題の野生動物の住み家にされている所があると耳にします。

市のホームページでは、空き家バンクやその奨励金等について、申請方法が記載されているようですが、高齢者には少し難しいです。申請方法やお知らせの方法等、もう少しわかりやすくなるとありがたいです。

(70代 女性)

思い出を守る安全対策

最近、サイクリングや釣りなどを楽しむ方を、市内でよく見るようになった。つくば霞ヶ浦りんりんロードの整備が、効果を表しているのではないだろうか。しかし、車道を走る自転車にはときどきひやっとなぜされる時がある。せっかく楽しみに、この行方市を訪れていただいているのに、何か事故やトラブルがあっては、台無しだ。安全対策とルール作りをしっかりとし、みんなが安心して楽しめるようにしてもらいたい。

(70代 男性)

議会トピックス

！ 行方市からの新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

市では、新型コロナウイルス感染症に関する情報をホームページで随時お知らせしています。

(<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/>)



次の定例会は「令和2年 第4回 定例会」
12月1日(火) 開会の予定です。

○詳しい日程は、市議会ホームページでご案内しています。

(<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/dir000067.html>)

○ご不明な点は、議会事務局 (☎0299-55-0111) へお問い合わせください。



広報委員会

委員長 阿部 孝太郎
副委員長 中城 かおり
委員 鈴木 裕
// 土子 浩正
// 高野 市郎
// 伊勢山 仙寿

議会だよりの
ご意見・ご感想を
お待ちしております。



～議会日誌～

- | | | |
|-----|-----|------------------------------------|
| 8月 | 3日 | 議会運営委員会 |
| | 7日 | 庁舎建設等調査特別委員会 |
| | 11日 | 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 |
| | 21日 | 庁舎建設等調査特別委員会 |
| | 26日 | 議会運営委員会
全員協議会 |
| 9月 | 2日 | 議会運営委員会
令和2年第3回定例会(開会)
広報委員会 |
| | 4日 | 本会議(一般質問) |
| | 7日 | 本会議(一般質問)
議会運営委員会 |
| | 9日 | 本会議
予算決算特別委員会 |
| | 10日 | 総務委員会
庁舎建設等調査特別委員会 |
| | 11日 | 教育厚生委員会 |
| | 14日 | 経済建設委員会
庁舎建設等調査特別委員会 |
| | 15日 | 予算決算特別委員会 |
| | 16日 | 予算決算特別委員会 |
| | 17日 | 予算決算特別委員会 |
| | 18日 | 教育厚生委員会 |
| | 24日 | 議会運営委員会
全員協議会
令和2年第3回定例会(閉会) |
| 10月 | 5日 | 地域医療調査特別委員会 |
| | 7日 | 東関東自動車道水戸線 視察 |
| | 8日 | 広報委員会 |
| | 9日 | 議会活性化特別委員会 |
| | 16日 | 経済建設委員会 |
| | 22日 | 広報委員会 |
| | 28日 | 百里基地・茨城空港対策特別委員会 |